

Bさんの手記

①自己紹介

僕は現在、警備会社に勤めています。駐車場で、ご案内や車の誘導といった警備をしています。勤務時間は朝8時から夕方5時15分までですが、残業になる場合もあります。朝は5時半には起きて出勤しています。

高校3年の6月から不登校になり、そのまま退学しました。そして、製造業へ1年程務めました。就職はしたものの仕事のミスが続き、怒られないようにと考えているのに、間違えてしまう自分に嫌気がさし、退職しました。

2年ほど家でブラブラしていました。それから、友人の紹介で工場内の清掃バイトを始め、正社員を目指し、やがて仕事を任されるまでになりました。しかしある時、初めて責任者として任された仕事で、他の従業員が工場ラインの上に物を置きっぱなしにし、翌日ラインが壊れ、その日の仕事がストップして大変な損害を出してしまいました。

清掃会社が弁償をしてくれましたが、責任者して大きく責任を感じ、辞めてしまいました。その後も、働かなくてはと思い警備会社、スナック、静岡で住み込みの解体業で働きました。そこで何かミスをした訳ではないのですが、休みに実家へ帰ったら静岡に戻れなくなってしまい、そのまま家にいる状態となりました。

自分を変えたいと思って働こうとするものの、仕事がうまく出来ず怒られてばかりで、「どうせ自分なんて」と思うようになり、人と関わる事が段々少なくなり、ひきこもるようになりました。結局、トータル4年ほどひきこもっていたのではないかと思います。

②ひきこもり期間は何をしていましたか？その時何を考えていましたか？

家で寝ている事が多く、起きている時はテレビを観ているかゲームで遊んでいました。たまに友達と遊びに行く事もあったけど、行くのは結局その友達の家で、外へ出かける事もなく遊んでいました。

遊びに行く際に父に、少しお金をもらってジュースやお菓子などを買っていました。自分からお金を催促する事もありましたが、出かける事を伝えたときに父からお金を渡してくれる時もありました。

「このままではいけない」と思いつつも、元々面倒くさがりで楽観的に物事を考えてしまう性格なので、「いつか仕事をやろう」「そのうちなんとかなる」ということを日々思っていました。

③ひきこもっている期間に家族にしてほしかったことは？

特にはないですが、強いて言うなら家族に理解してほしかったです。自分で何をしたいのか、何をしたらいいのか分からず、家族には「仕事をしなさい」と言われ、どうにもならない自分の悶々とした気持ちを分かってほしい、という思いは常にありました。

④どのような経緯で相談に来ましたか？

別の地区の民生員さんが訪ねてきた際に、僕が家で対応したのを気にかけてくれ、僕の住んでいる地区の民生員さんに会う機会ができました。民生員さんの勧めもあり、自分の生活を変える良い機会だと思い、8月に青少年の家の若者相談窓口で理事長とお話させていただき、その後虹の会でお世話になることにしました。

⑤働こうと思ったきっかけは？

虹の会では、ベルマークの仕分け作業や掲示物の作成作業、ホコ天への参加など、仲間と協力して一つ一つの事を一緒に考えたり、相談したり、何か物事をするうえで助け合うことの大切さを学びました。

僕が虹の会へ入ってすぐの時に、父が病気で入院しました。父の世話をしている中で、入院して体調が悪い父に逆に心配されてしまいました。父自身が苦しい状況にも関わらず、僕を心配してくれる姿をみて、今までどれだけ父に苦労や迷惑、心配をかけたのかにようやく気づき、自立を決意しました。

9月に父が亡くなりました。働かなくてはいけないと思ったきっかけです。

⑥就活をして大変だったこと、苦労したこと

自分がやりたいことが自分でも分からず、何をどうやって探せばいいのか苦労しました。求人雑誌に目を通すものの、応募には至りませんでした。スタッフと一緒にハローワークで求人検索をしました。

求人票を見ると、免許や資格が必要なところが多かったです。自分は資格も車の免許も持っていません。まして、仕事も3ヶ月とか長くて1年ほどしか続いていない。どこも無理だろうと思っていました。スタッフから、警備の仕事が向いているのではと、ハローワークの求人を勧められました。

1週間後、思い切って求人に応募しました。面接をしていただけると聞いた時は、「やった～」という気持ちと、「仕事が続いていないのでどうせ雇ってもらえないだろう」と不安な気持ちが出て、押しつぶされそうにもなりました。

それでも、面接してもらえると自分を奮い立たせながら、虹の会のスタッフと履歴書の書き方、面接練習を行いました。当日は面接時間に遅れないように朝早く家を出て行きました。そして、即日採用内定をしていただきました。とても嬉しかった事と、ホッとしたことを思い出します。

⑦働きだしてから感じたこと

どんな些細なことでも、誰かが仕事をしている事で他の人の生活が成り立っていて、知らず知らずに、どこかでお互いに支え合っているんだなと思います。

9月に父が亡くなってから、自分で家事や家の片付けをしなくてはならないのですが、なかなか出来ず、食事もコンビニ弁当で済ませてしまうことが多いです。時々、父が作ってくれた鍋が食べたくなります。

今こうやって仕事ができ、お金を稼ぐようになり、父のありがたみに感謝しています。また、仕事では、駐車場が満杯でお客様が怒鳴ることがありました。自分たちは頭を下げるしかないので、イライラをぐっと我慢しました。

それと少し前、市外の現場の交通誘導に行きました。多くのことを覚え一人前に育てようと、会社側が思ってくれているみたいで、嬉しいです。そう思われていることにモチベーションも上がりますし、やりがいも感じています。

⑧当事者へ言いたいこと

僕は虹の会でいろいろな体験やアドバイスを受けていく中で、自分のやりたいことや向いていることなどの方向性が見えてきました。みなさんにも家族や友達、虹の会のスタッフや仲間の方たちなど、助けてくれる人が必ずいます。辛いことや悲しいこと、大変なことなどがあれば、誰かに聞いてもらうことで楽になるかもしれません。

⑨今後の目標

車の免許を持っていないのでお金を貯めて免許を取ることです。生活の行動範囲も広がり、仕事に関しても色んな現場にも行けるようになるので、早めに取得したいです。